

第1回東金市総合計画審議会 会議議事録（要旨）

【日時】

令和2年2月13日（木）9:30～11:45

【場所】

東金市役所 第1委員会室

【議事内容（要旨）】

1 開会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ

2 市長あいさつ

- ・市長よりあいさつ

3 委嘱状交付

- ・事務局（企画政策部参事）より委嘱状交付について説明

4 委員紹介

- ・事務局（企画政策部長）より委員の紹介
- ・各委員よりあいさつ

5 会長・副会長の選任について

- ・（事務局案にて全会一致）会長に久保田委員、副会長に秋口委員を選出

6 会長あいさつ

- ・会長よりあいさつ
- ・事務局員の紹介
- ・市長退席

7 議題

(1) 第3次総合計画の総括について

発言者	内容
事務局 (企画係長)	(「資料1 東金市第3次総合計画の総括」について説明)
会長	・何か、ご質問・ご意見があれば。
委員	・この総括は、市民に対して発表していくのか、庁内だけで取り扱っていくのものなのか位置付けを教えていただきたい。
事務局 (企画政策部参事)	・第3次総合計画が終了した時点で、市ホームページ等での公表を予定している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料中のグラフの縦軸がまちまちなので、見間違えがないように軸をそろえてほしい。また、特徴的なグラフは、キャプションなどでコメントを加えてもらった方がよいと思う。例えば7ページの公民館利用者数。平成18年度から19年度にかけて大幅に増えている理由など。 ・前回の会議でも指標の作り方については、各課が勝手に設定している、初期値がおかしいなどの指摘があった。それを無視して、結果がよかったなどというのは、雑な議論になってしまう。これまでの議論を踏まえて総括してほしい。いかに市民生活に貢献したかで総括すべきだと思う。
委員	・総括という点では今回の資料のような形になると考える。個人的にはわかりやすく数値化してくれていると思う。産業など数値が低いところを気が付かせてくれた点はよいと思う。ただし、外に出したときは、数字が一人歩きするので、気を付けて扱っていく必要がある。外に出すときは、検討が必要。
事務局 (企画政策部参事)	・一般が見るとわかりにくい点は、公表の仕方を検討する。数値の客観的な捉え方については、まだまだ検討の余地があるので、今後も検討していく。
会長	・この場で答えたこと、今後の課題となること、次期計画で検討すべきことの3点があった。そのほかに何か質問は。
委員	・2ページの市民アンケート結果として、住みやすいまちだと感じている市民の割合が30.4%から37.2%に増加しているが、その理由は。
事務局 (企画係長)	・ストレートに、住みやすいまちだと感じているかどうかを聞いた設問で、これに回答した市民の割合となっている。
委員	・県の世論調査だと感覚的なものではなく、何に対してよいと思っているか上位何位まで出している。そこまで聞くと弱い部分がかかってくるので、今後、同様の調査をするときは、そのようなやり方を検討いただきたい。

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・また、計画終了時、成果については、事業課にヒアリングし、企画課の物差しで数値化していると理解しているが、そうしたきめ細やかなヒアリングはしているか。
事務局 (企画係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の各課の自己評価については、昨年の8月、企画課とぎょうせいですべての事業課に対して実施したヒアリングの数値となっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度共通認識した数値になっているという理解でよいか。
事務局 (企画係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・指標をつくる時も、同様にヒアリングをしているか。ある程度企画課を通してフィルタをかけ、課長指標はこれでよいというヒアリングをしているか。
事務局 (企画係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・第4期基本計画の策定に当たり、課長指標についても各課のヒアリングを通して、この計画に記載している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのほかに意見は。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・31 ページに公共施設等総合管理計画を策定したとあるが、この計画では、将来の人口減少を踏まえて総量を減らすべきとか、財政的などころに触れているか。
事務局 (企画係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理計画ということで、市全体の公共施設を洗い出し、それらを改築・建て替えした場合のシミュレーションを行い、今後の方向性を示したものになっている。今後は来年度中に、個別施設の計画を策定し、具体的な方向性を示していくことになる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合管理計画の中では、総量的な話はしていないということによるしいか。
事務局 (企画係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまで、その施設を今後どうしていくか、方向性を示したものである。今後、何個減らすとか、そうしたところに踏み込んだものではない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・県でも県内の市町村でも、先進的な自治体では財源の負担も見ながら長寿命化計画を策定しているところがあるので、そうしたのも今後の参考にしていきたい。そのほかに意見は。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・財政力がなく、計画でどうまとめていこうとしているのか教えていただきたい。満足度は上がっているが、どの部分が低いのか把握していく必要がある。財源力が乏しい中で、市民がどこに力を入れてほしいと考えているのか、当局としてはどう捉えているのか。
事務局 (企画政策部参事)	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ途中だが、本日示したものが第3次計画の総括となっている。現在は、地区の懇談会も進めながら、次の計画の素案づくりを進めている。次回の審議会の中で、諮問という形で第3次の総括を

発言者	内容
	踏まえつつ、新たな素案の議論を進めていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 今の委員の意見は貴重な意見だと思う。限られた財源の中で、どういったものを重点的に展開していくか、これが総合計画の重要なところだと思う。例えば、下水道普及率を上げようとするれば、かなり費用はかかるが、普及率はそれほど上がらない。逆に、ごみのリサイクルは、現在、指標は悪いが、他の自治体では成功しているところも多く、そんなに財源を投入しなくても施策を展開した結果、リサイクル率が上がるという事例も結構ある。ソフトな指標だけではなく、限られた財源をどのように投入していくかという視点も持ち合わせて、次期総合計画にオーソライズしていければよいのではないかと。そのほかに質問は。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 個人的な感想だが、よいところも悪いところも、アンケートも入っていてよくできていると思う。1つ気になったのは21ページの市民アンケート結果で、市に「活気があると感じている」が26.2%、「活気がないと感じている」が67.4%となっているのを見たときに、やはりそうなのかなと思った。具体的な事業を見ると、中心市街地活性化計画や駅西口のにぎわいの創出に取り組んでいるのに、効果が出ていないのかと感じている。課長の成果指標も企画課でヒアリングして共通基準で設定しているので、こうしたものも参考になると思う。ただし、こうした指標を掲げながらも成果が上がっていない。今後もまちづくりの方向として大きく変わらないのであれば、どのように重点的に取り組んでいくのか考えていかなければならないと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> そのほかに。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 次のステップに行くにはうまくいったところも重要だが、なぜうまくいかなかったのかを把握することが重要だと思う。その辺りの指摘が少ないので、これから世論をつくろうとしたらそうしたところも出していただきたい。また、地区懇談会のときに話が出たかと思うが、23ページの従業者数のグラフを見ると、平成27年が突出しているのに、次の年にはガクッと減っている。この地域では、従業員の数というのは大きな問題だと思うので、なぜこういう動きになっているのかをきちんと見ていかないと、どういうところに重点的に力を入れてやっていくのが曖昧になってしまう。先ほども意見があったが、数値が大きく変わっているところはコメント付けしていくと、より理解しやすいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどもあったが、平成27年に事業者が進出したから、従業員数が増えているとか、コメントも場合によっては必要だと思う。その辺りの検討を。

発言者	内容
事務局 (企画政策部参事)	・わかりました。

(2) 次期総合計画の策定方針について

発言者	内容
事務局 (企画係長)	(「資料2 次期総合計画策定方針」について説明)
会長	・これについて、ご意見・ご質問があれば。
委員	・今後の計画の策定方針ということで、わかりやすくまとめてもらっているが、第3次総合計画の総括を踏まえた策定方針と理解してよろしいか。
事務局 (企画政策部参事)	・はい。
委員	・個人的には、今まで通り、総括的な計画が策定されていくと感じた。予算がない、人口が減っているなど、悪い状況もあると思うが、今後も市民の要望を聞いて、すべてやっていくことが可能なのか。それをやっているとすべてが中途半端になってしまい、東金市がどう変わるのか中々わかりにくい。こういう東金市にしたいという市長の価値観があれば、それに絞って実現するのも1つの方法だと思う。それも含めて、東金市の将来性を審議会で議論するのか、将来性については事務局での絞るのか、その辺りを示してほしい。個人的な考えとしては、守りの戦略ではなく、攻めの戦略をつくった方がよいと思う。総括にもあったが、産業基盤が非常に弱くなっているという話があった。やはり財源がなければどうにもならないので、産業の活性化をどうするのか是非配慮いただきたい。総括の中で、丘山のテクノロジーパークについては、どれくらい用地が売れたか説明があったが、東金にはいくつも工業団地があるので、それだけではなく、市以外からどうやって金を稼いでくるのか、どうやって産業基盤を整備して、どのように税収を上げていくのか、そうしたことを踏まえて、私たちが議論していく必要があるのかないのか、リードしていただきたい。
会長	・非常に貴重な意見で、正にその通りだと思う。これについて事務局で何か。
事務局 (企画政策部参事)	・ご指摘の点、我々も難しいところだと思っている。現在、各地区懇談会を回りながら説明をしている案件で、これから諮問をさせていただくことになるが、総花的だとのことご批判もあるが、行政には、あらゆる分野の仕事がある。それは、何々を一切やらずに何々

発言者	内容
	<p>に行くということにはならないもので、そういった部分では総花的にはなるが、あらゆる施策の考え方を示したのものになる。一方、委員からお話があったように、お金もない、何か絞らなければということも十分わかっているの、今までやってきた市民の意識調査や市長の施政、東金市の持つポテンシャル、そういったものを踏まえて重点的にやっていく部分には位置付けていきたい。今現在も、行政は動いている。総花的な部分も残るが、新しい時代に向けてやっていかなければならない。重点的にやらなければならない部分の得だしも、できるだけやっていきたいと考えている。その中では、稼いでいくまち、これは行政であり、地域であり、その活性化によって稼いでいくという視点を持って取り組みたいと考えている。今まで税収以外で稼ぐという話は、中々言ってこなかった部分もあるが、税収以外で稼ぐという観点を大事にしながら、次の計画、我々の中での骨子を固めているところである。地区の説明でも、そういった部分を説明させていただいている。次の諮問の段階では、そういった話もさせていただきたい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の議論と関連するが、計画期間 10 年は適当だと思うが、前半の 5 年が終わったところで、次の 5 年間で軌道修正するのか、きちんと振り返っていく必要がある。前回の 20 年計画のときには、その辺りがうまくいかず、5 年ごとの見直しができなくて 20 年間引きずった。目標人口も最初に設定した 75,000 人を最初の 5 年間で 60,000 人くらいにすべきとの議論も出ていたが、中々変えられなかった。そういったところが変えられる計画として行っていくことが必要だと思う。市民から色々意見をいただいている中、前回、基本構想の策定段階では、すべての意見を答申案にかけた。特に建設的な意見は確認した。これは大事なことで、総合計画に書かれていることは、将来、東金市が実行する可能性が高いことで、総合計画に書いていないことは、市は絶対やらない。だから書いていないことをやろうとしたら、10 年・20 年待たなければならない。次の計画策定のときでないと入れ込めないということになるので、市民から意見が出て、少しでも実行する可能性があるものは、総合計画の中に 1 行でも書いておいて、実行可能性の調査であるとか、寄付金があったら、こういうことができるとか、そういった程度のことでよいので、何か書いて位置付けておけば、市民がそれを見て、市民活動に換えていく。10 年間何もできないという手足を縛られた状態を避ける、そういった意味でも総花的というか、そういうやり方もあると思う。まずは、建設的な意見が途中で切り捨てられないよう、市民が何を考えているかを

発言者	内容
	審議会の場に伝えてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもは計画よりも実行を優先したいと常々言っている。計画に基づく実行が重要だと思っている。財政的なことから、私もすべてはできないだろうと思っている。商工農、つくるだけでなく、販売もすることに特化しているの、そうした民間の力を計画に入れていき、この中で何をやらなければならないのか、もうマニフェスト的な計画はいらないから実行してみよう。すると、実行するうえで1つ2つ問題が出てくる。そういうものを取り上げていき、あらためて総合計画をまとめるという考え方もあると思う。だから、今お話しされている総花的な、どこの市町村にもあるような、そういう計画ではなくて、本当に東金市に必要なものを実行してみて、何ができて、何ができないのか、そこまで探求して、それをもとに総合計画をつくるのがよいのではないかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今日はまだ素案が出ていないので、皆さんがざっくばらんに色々な意見をお話しされている。大きく言えば、夢のある構想・計画をつくろうという部分と実効性のある部分を少し切り分けし、早い段階である程度共有しないと、後になったら大変なことになると。委員の皆さんおっしゃって、議員の皆さんもそうだが、その辺の部分の次のときにどういうところを目指すのか。スケジュール表では、基本構想を答申した後、基本計画の審議になっている。実は、何に重点を置くのかは基本計画になる。基本構想に審議会のエネルギーを使うより、基本計画を早めに出してもらって基本計画に時間を使うべきだと思う。私は、ハードとソフトとハートと物事を分けているが、これまで意見が出てきたように、ハードはものすごくお金がかかるので、それを一所懸命やろうとすると、委員がおっしゃったように、施設管理計画をやったらすぐにパンクしてしまう。仕組み、これはソフトで、議員の先生方に協力をしていただかないとならないが、仕組みを変えて、産業系の方々が非常にやりやすいと、だけど法制度ではだめだというときに、東金流の仕組みができるかどうか、皆の総力でありながら、議員の先生方にも頑張ってもらいたい。ハートという部分に関しては、皆で参加していこうという部分、これは皆で盛り上げていかないと、苦労しているけど全然数値が上がらなくなってしまふ。これは、私が勝手に3つに分けただけであって、それぞれ皆さんの仕分けがあると思うので、次の段階では語っていただきたい。とりわけ意見をいただいた、これからはお金がないからという部分で、民から力をどう引っ張り出すか、そのための誘い水であると

発言者	内容
	か、最初の一滴くらいは公共団体やってほしいとか、そのような意見は大切だと思う。基本構想の議論に時間をかけるのか、基本計画の議論にエネルギーを置くのか、是非とも次のときまでに考えていただきたい。構想・計画を立てて上がりではなく、行動できるものをつくるかどうか、限られた時間、1年もないから、皆さんの意見を聞いて、議論を絞っていったらよいのではないかと思う。
会長	・大変参考になる意見だと思う。構想については、少し早めに議論を進めて、計画を重点的にということ。ただし、構想も大変重要なものなので、素案を見てから、また、議論を進めていきたいと思う。

(3) 次期「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

発言者	内容
事務局 (企画係長)	(「資料3 次期「東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について」について説明)
会長	・これについて、ご意見を。
委員	・こういう会議になると、城西大学の活用とか高校生の活用とか、よく出てくるが、彼らが東金市に移住・定住してくれる条件は何なのか、意見を言うだけなら誰でも言えるので、本当に定住してくれる人が何人いるのか聞いていただきたい。
会長	・これについては、地方創生の国の流れの中で、国が定めた総合戦略に準じた形での地方創生総合戦略を策定していくことになる。総合戦略に位置付けられたものについては、国の交付金を重点的に配備するというものなので、無下にできないところがある。今回の総合計画と時期をうまく調整していくことは条件付きで認められているので、積極的に活用していくことでよいかと思う。ただし、総合計画の中にこれも被ってくるということを考えていくと、今、委員がおっしゃっていた、根本的な東金の魅力づくりについての議論も今後進めていきたいと思う。引き続き、ご意見がある方もいらっしゃると思うが、次回会議で引き続き議論するというので、ご容赦いただければ。
委員	・国の方でも SDGs という考え方が出てきているが、庁内の方でも、それぞれの課の仕事一つひとつが、この SDGs につながっていると思う。そうした意味でも、総合戦略を立てる中で、どう位置付けをしていくのか、これから具体的に組み立てていく中で、全部の仕事は SDGs につながっていると思うので、その辺りをしっかりと押さえていただきたい。

発言者	内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合戦略でどんな仕事をやったかを見ていただくと、皆さんご存じの仕事があつて、皆が頑張つて、東金市民や周辺の方々から評価を得たものが選別されると実現できるという手段を持っているというのが戦略と理解していただいた方がよいと思う。総合計画と総合戦略をがっちり一体的に捉えると総合計画が歪んでしまうので、総合計画の基本構想と基本計画をしっかりと議論して、そのいいとこどりを総合戦略でやるという感覚で丁度よいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ意見はあると思うが、次回以降、自由闊達なご意見をいただければ。ほかに何かあれば、別紙意見書で事務局にお届けください。

8 その他
(特になし)

9 閉会
・事務局（企画課副課長）よりあいさつ